

# くろつち便り

今月の内容

空中給油機反対集会(3/27,4/13-中止)／  
 金曜集会(4/3)／野草折々-34-エトアヤメ  
 総会・歓迎会(5/10)／憲法記念日  
 喜劇との出会い(中村元重)  
 (ほっとする話)車にまつわる話2話／他



↑会報QRコード

## 金曜集会

4月から9月までは、集会の開始時刻が18時からです。

3日、イベント広場前に有志が集まり、行き交う車に「脱原発、憲法改悪阻止、安倍政権打倒」などをアピール。30分程度だけど、車窓からこちらに目を向けてくれる人もいて、いくらかでも声が届いているなあ

横断幕に見入っている若者



と感じられると、ほっとします。そんな中、たまたま通行中のある若者、「平和憲法を守ろう」の幟をじいっと見つめていたり、横断幕の文字を何か考え込むように見入っていたりしていました。よく「いまどきの若者は、どうも・・・」と批判的に捉えがちですが、そうでもない。こういう若者が増えてくることを期待したい。

声をかけようかと思いましたが、遂にかけずじまいでした。  
**次回は5月1日18時～。**あの若者、再度現れないかなあ。

## KC130 訓練反対

5月1日はメーデー。この日デモをしなくなって何年になるんだろう。(いつもは代々木公園で開催の中央メーデーも、今年はネット配信が中心だろう。)そして3日は憲法記念日。

1976.5.3の天声人語に丸山真男氏の言葉「(民主主義は、)その制度の現実の働き方を絶えず監視し批判する姿勢によって、はじめて生きたものになる」が紹介されていた。

KC130の離着陸訓練があるというので反対の意思を表明しようと心積もりしていたが、3月27日、4月13日そして15日も肩透かし。このまま来ない日が続くことを願う。

次回は、4月27日(月)12時～16時に計画されている。監視と批判を強めなければならない。

## 当面の日程

- 鹿児島市議選  
 4月12日告示 19日投票  
 (森山清美必勝)
- 5月1日金18時 金曜集会
- 5月3日 憲法記念日
- 5月10日(日)?別紙  
 くろつち会総会・歓迎会



昨年の交流会

- 労金友の会の5月行事(GG大会他)コロナの影響で未定。
- 7月?日 支部大掃除
- 8月9日 原爆祈念集会
- 8月? 共助会講演会等々。未定のところは心積もりをしていてください。コロナの影響でどうなるか分かりません。

- ・べったりと  
 パンにジャム塗る敗戦日  
 ・寝たきりにさせてはならぬ冬冬  
 (原浦博是さん)
- ・鬼灯や妣の幼時は聴かざりし  
 ・産湯なる久の湧水春うらら  
 (渡辺節雄さん)
- ・炎天にわだつみの聲兄のこゑ  
 ・独り居の狭庭に泌みる虫の声  
 (福成誓夫さん)



先般、南日本に原浦さんの俳句が載っているのを見て感動し、「そううだ、くろつち便りに昨年の作品展の中から掲載するのいいな」と思っ

- ・元日や 新元号に 思い馳せ  
 (川柳)
- ・立春にスキップひとつやってみる  
 (田中実さん)
- ・受けた恩思い出す度役が増え  
 もう飲まぬ  
 朝の誓いは日暮れまで  
 (短歌 迫 睦子さん)
- ・草むらさ  
 たたきたづねし 弾薬庫跡  
 奄美の森に 蔵としてあり  
 加計呂麻の島々のぞめる観測所  
 旧海軍の描画の薄れる  
 各二点ずつ掲載しましたが、残りの数点は、次の機会に紙面に余裕があったら掲載します。



## 喜劇との出会い

みんなにチビと呼ばれ、学業もできず馬鹿あつかいにされていた知恵おくれの子供が、学芸会でイソベ先生に紹介されてカラスの鳴き声をまねる。子供のカラスの鳴き声、母カラスの声、父カラスの声、朝のカラスたちの声、村で人に不幸のあったときの鳴き声、そして幸せそうな声など鳴き分けて、最後に大きな声でカラスの鳴き声をしたので、みんなは感動したそうだ。

もはやチビと呼ぶ人はなく、

「からすたろう」と呼んだそうだ。

絵本作家・八島太郎の神山小学校時代の体験が、いま我々に、失いつつある教育の原点が何であるかということ、この絵本は問いかけている。

この絵本のさし絵が、僕の赤ん坊の頃の写真によく似ているのには驚いた。この写真は聖書に貼って宝としている。

この劇を読書サークルの叔母さん達と大型紙芝居で鹿屋市西原小学校でカラスの鳴き声をまねて演じた。幸せそうな声で、大きな声でカラスの鳴き声をしたので、みんなは感心していた

と思う。施設、大隅之園には、いつもニコニコ顔の娘がいる。喜劇の中の日常である。素晴らしい。

男の園生に地元出身の「太郎」という人間にも引かれる・・・

人間みな神の子（母の言葉より）、人間みな天才（父の言葉より）  
（文 中村元重）



## ほっとする話（文責 樋園哲思）

### ちょっぴり役立つ？話

車にまつわる話、2話。

一昨年12月の学習会で西洋一さんが県内共通バスICカードの話をした。

鹿屋市は70歳になったら5千円を限度に、半額を補助するという。松下先生からも同様の話を聞いていたのだが、3月31日までだという話をどこからか妻が仕入れてきたので、慌てて手続きをすることにした。

リナシティのバス待合室でICカードに1万円分の積み増しをして、その領収書と保険証（又は運転免許証）・印鑑を、市役所の高齢者福祉課に持って行くだけで、10分で手続きが済んだ。

係の話では、4月にはリセットされるということなので、必要なら新年度にはまた、手続きできるということのようだ。



「シールを貼りますね」と言ってシールを貼られたが、後で見ると「鹿屋市敬老」というシールだった。自分はまだ70なのに、敬老扱いかよ、とやや不本意だったが、半額補助してもらうんだ、不正使用を防ぐためにも仕方がない。

「いわさきICカード」でないのだめなのかも聞いてみると、他社（例えば鹿児島市交通局発行）のものでも、OKだそうだ。但し当然ながら鹿屋市在住で70歳以上。

教訓1（場合によるが）何とかわれても利用できるものは利用すべし。

第2話。今年6月、運転免許証の切り替えだ。1月に「高齢者講習」のはがきがきた。冬は大変だし、春は卒業シーズンでいっぱいだろうからと思索して、4月以降にしようとのんびりと構えていたんだが・・・

3月末、自動車学校に電話して驚いた。いつでも受けられると思っていたら、何と予約が必要なんだそう

な。電話の向こうで、6月まで予約でいっぱいだという。

「団塊世代で多いようです。他の人ははがきが来たらすぐに電話してきてますよ。」と言う。

更新に間に合わない、困ったなあ、と思っていたが、ちょっと時期的に遅くなるが、僕の誕生日後、6月末に空きを見つけて下さって何とか予約できた。ほっと一安心。

妻曰く「私、予約が大変だと知ってたわよ。新聞の投書欄に困った人の話が出ていたもの。」

そんな大事なことを早く教えてくれよ。・・・夫婦の会話の欠如？

教訓2、成事後に安閑せよ。

後日談がある。

翌日県内でもコロナ患者が出たと報道。6月講習は大丈夫だろうか心配になってきた。ものは試し、念のため別の自動車学校に電話したら、4月に空きがあった。幸運我にあり。

教訓3、早すぎる諦念は損。手を尽くせば何とかなることもある。

## 野草折々-34-

飯山春男さん紹介の身近な植物シリーズ。今回は、

### エヒメアヤメ（アヤメ科）

草丈10～15cm。直径4cmぐらいの青紫色の花を咲かす。誰のために、こんな可憐な花を咲かせるのかという意味で、別名、誰故草（タレユエソウ）。

絶滅危惧種。国指定の天然記念物。



写真は2020年4月4日 小林市生駒で撮影

もりかけ問題、桜を見る会問題等々に対する安倍の発言、そして今回のコロナ対策での発言、開き直りも甚だしい。国民感情とあまりにも乖離し国民を愚弄。くろつち便りに原稿をお願いします。